

平成26年度 鍼灸学ユニット研究活動状況

1. ユニットメンバー

錦織 綾彦、榎田 高士、川本 正純、吉備 登、
坂口 俊二、木村 研一、戸村 多郎、山崎 寿也、
北川 洋志

2. 平成26年度活動報告

以下の各テーマに沿って、個人およびグループ研究（学外との共同研究含む）を行った。

<榎田高士>

1. クリーンニードル鍼の細菌学的安全性の検討は終了し、第63回全日本鍼灸学会学術大会にて発表した。今後も開発されたクリーンニードルについての問題点をさぐる研究が必要であるが、現在ニードル自体の供給が充分でなく研究が滞っている。供給が再開されれば検討を行う予定である。
2. 接骨院における衛生学的問題点について研究を大学院生とともに研究を進めてきたが、この領域での検討課題は多く、引き続き検討を行っていく予定である。
3. 鍼灸臨床におけるサーモグラフィの活用について検討し、日本サーモロジー学会第31回大会で発表した。

<吉備 登>

1. 鍼灸治療のインシデント・アクシデントについては、それらのレポートの集約をおこない、適格な施術者が行えば極めて安全な治療法であるが、皆無にはならない。その対策について第66回日本良導絡自律神経学会学術大会にて発表した。

<坂口俊二>

1. 若年女性の冷え症と関連する症状の検討
これまで冷え症の鍼灸治療効果の判定に用いてきた評価法（「冷え日記」）について、冷えと14症状の関連を相関分析で再検討した。本結果は第64回全日本鍼灸学会で発表の予定である。
2. 冷え症に対する鍼治療の臨床研究の実施
「成熟期女性の冷え症に対する鍼治療の有効性を検証する多施設共同無作為化比較試験」（UMIN-CTR登録済）を実施した。今後、データ解析を行い、論文作成の予定である。

<木村研一>

1. 鍼刺激による下肢血流と筋交感神経活動への影響（文科省科研費研究課題（基盤研究C） 研究課題番号：24590905）。
本年度は局所冷却時において足三里穴への鍼刺激と偽鍼刺激による筋交感神経活動への影響に関する実験を行っている。現在も実験中である。
2. 低周波鍼通電療法が筋酸素動態に及ぼす影響
低周波鍼通電の周波数が筋酸素動態に及ぼす影響の違いについて大学院生と研究を行った。現在は低周波鍼通電の通電時間や刺激方法について検討を行っている。

<戸村多郎>

1. 五臓スコア（FVS）で中高年者の健康状態が評価できるのか、血液・尿検査値等との関係を地域住民約200名に調査した結果を原著論文としてEvidence-Based Complementary and Alternative Medicineに投稿した（印刷中）。調査が継続・追跡できているので、コホート研究として検討していく。
2. 改訂版「五臓スコア（Five Viscera Score）」の妥当性に関する原著論文が、関西医療大学紀要に掲載された（関西医療大学紀要, vol. 8, 12-19, 2014）。
3. 鍼灸医療面接教育における教材開発及び普及に関する研究論文が全日本鍼灸学会雑誌に掲載された（全日本鍼灸学会雑誌, 64（4）, 204-211, 2014）。
4. 「五臓スコア」が特許庁で商標登録された（2014.6）。

<山崎寿也>

1. 鍼灸実習で使用している計測カードに対して、在学生・教員にアンケート調査により問題点を抽出し、第63回全日本鍼灸学会学術大会にて発表した。その結果を基に計測カードを更新し作成した。来年度より使用する。
2. ラットの延髄弧束核へタンパク質を直接導入（マイクロインジェクション）し、慢性期での循環動態へ及ぼす影響を検討している。継続中。

<北川洋志>

1. トリガーポイント鍼刺激による心血管系自律神経活動の筋による反応性の違い
本年度は前年度に行った前脛骨筋への鍼刺激以外に、総指伸筋、中殿筋、咬筋のトリガーポイントへの鍼刺

激時と無刺激時の心血管系自律神経活動の反応性の違いに関する実験を行った。現在も実験中である。

3. 研究業績

1. 著書

吉備 登, 多賀谷 昭. 大阪市加美遺跡 Y 1・2号墳丘墓出土の弥生人骨. 公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所(編). 大阪市平野区加美遺跡発掘調査報告 V. 公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所. 2015:129-52.

坂口俊二. 臨床⑤主要症状・疾患のエビデンスとメカニズム 第1節 6. 冷え症. 川喜田健司, 矢野 忠(編). 鍼灸臨床の最新科学 メカニズムとエビデンス第1版. 医歯薬出版. 2014:142-7.

2. 原著

Kimura K, Ryujin T, Uno M, Wakayama I. The effect of electro-acupuncture with different frequencies on muscle oxygenation in humans. Evid Based Complement Alternat Med. Article ID620785, 6 pages 2015.

Taro Tomura, Kouichi Yoshimasu, Shunji Sakaguchi, Kanami Tsuno, Shigeki Takemura, Nobuyuki Miyai, Kazuhisa Miyashita. Influence of biomedical factors on the Five Viscera Score (FVS) on middle-aged and elderly: application of structural equation modeling. Evidence-based Complementary and Alternative Medicine (in press)

榎田高士. 関西医療大学におけるサーモグラフィ研究の歩み. Biomed Chromol. 34 (2) :28-31.2015

林 正貴, 遠藤 宏, 田中泰史, 吉備 登. 良導絡データの多変量解析による診察法 - 胸椎圧迫骨折患者の良導絡(針)治療を通じて -. 日良導絡自律神経誌. 60 (1) :28-37.2014

戸村多郎. 改訂版「五臓スコア (Five Viscera Score)」の妥当性. 関西医療大学紀. 8 : 12-9.2014

奈良雅之, 戸村多郎, 小島賢久, 福田文彦, 中村真通, 藤田洋輔. 鍼灸師を対象とした医療コミュニケー

ション・スキル尺度の開発. 全日鍼灸会誌. 64 (4) : 204-11.2014

宮寄潤二, 久下浩史, 池上典子, 辻 涼太, 坂口俊二, 竹田太郎, 小島賢久, 佐々木和郎, 森 英俊. 女性の冷え症状に関する因子の検討 - 冷え・腰痛・月経関連症状尺度の関係性について -. QOL J. 15 (1) : 45-50.2014

宮寄潤二, 久下浩史, 坂口俊二, 森 英俊. 日常生活活動を指標とした肩こり調査紙の作成 - 肩痛および肩こりの調査紙間との関係とその再現性について -. 東医とペインクリニック. 44 (1) : 2-10.2014

池上典子, 辻 涼太, 久下浩史, 坂口俊二, 竹田太郎, 宮寄潤二, 小島賢久, 森 英俊. 冷え症状と月経関連症状との関係性について. 東医とペインクリニック. 44 (1) : 11-6.2014

辻 涼太, 小島賢久, 池上典子, 久下浩史, 坂口俊二, 森 英俊. 女性の冷え症状に関する因子の検討 - 冷え・腰痛・月経関連症状尺度の関係性について -. 東医とペインクリニック. 44 (1) : 17-24.2014

3. 学会発表

榎田高士, 北川洋志, 山崎寿也, 東内あすか, 家本旬二, 下市善紀, 清行康邦: クリーンニードル鍼の細菌学的安全性の検討. 第63回全日本鍼灸学会学術大会. 2014.5.愛媛

榎田高士. 関西医療大学におけるサーモグラフィ研究の歩み (大会長講演) 第31回日本サーモロジー学会. 2014.6.大阪

吉備 登. 鍼灸治療の落とし穴. 第66回日本良導絡自律神経学会学術大会. 2014.9. 仙台

坂口俊二, 戸村多郎, 久下浩史, 若山育郎. 若年女性の冷え症に対する「五臓スコア」による原穴と三陰交 (SP6) を用いた円皮鍼セルフケアの試み. 平成26年度日本東洋医学会関西支部例会. 2014.10. 大阪

宮寄潤二, 久下浩史, 白井麻衣子, 坂口俊二, 佐々木和郎, 森 英俊. 肩こりとQOLとの関連について. 第15回日本QOL学会. 2014.9. 東京

池藤仁美, 坂口俊二, 鍋田理恵. 関西医療大学における学習管理システムの構築と運用国家試験対策を例として. 第63回全日本鍼灸学会学術大会. 2014.5. 愛媛

宮崎潤二, 久下浩史, 坂口俊二, 佐々木和郎, 森 英俊. 肩こり調査紙と肩部の硬度および圧痛との関係について. 第63回全日本鍼灸学会学術大会. 2014.5. 愛媛

龍神孝慶, 木村研一, 坂口俊二, 榎田高士, 郭 哲次, 若山育郎. 低周波鍼通電療法が筋酸素動態に及ぼす影響 周波数による比較. 第63回全日本鍼灸学会学術大会. 2014.5. 愛媛

木村研一, 竹内勇人, 百合邦子, 若山育郎. 鍼刺激や電子温灸による局所皮膚血流増加反応と一酸化窒素の関与 マイクロダイアリシス法による検討. 第31回日本サーモロジー学会. 2014.6. 大阪

木村研一, 中村 健, 高橋紀代, 田島文博. 鍼刺激が筋交感神経活動および循環動態に与える影響. 第67回日本自律神経学会総会. 2014.10. 埼玉

戸村多郎. 五臓スコア (FVS) とストレスとの関連性 (シンポジウム: ストレスに対する東洋医学的アプローチ). 第84回日本衛生学会学術総会. 2014.5. 岡山

戸村多郎, 中井一彦, 坂口俊二, 福田文彦, 小島賢久, 宮井信行. 鍼灸医療面接教育における教材開発及び普及に関する研究 (2). 第63回全日本鍼灸学会学術大会. 2014.5. 愛媛

小野真裕子, 出水小百合, 酒井律子, 中井一彦, 戸村多郎. 月経前症候群 (PMS) に対する東洋医学的診断—五臓スコアとの関係. 第63回全日本鍼灸学会学術大会. 2014.5. 愛媛

森下美佳, 青地由梨奈, 宮井信行, 内海みよ子, 内川友紀子, 辻 あさみ, 戸村多郎, 森岡郁晴, 宮下和久. 中学生における睡眠状態とストレス症状との関連. 第61回近畿学校保健学会. 2014.7. 大阪

山崎寿也, 北川洋志, 坂口俊二, 榎田高士. 関西医療大学での鍼灸実習時の技術向上に対する取り組み ~「計測カード」を用いて~. 第63回全日本鍼灸学会学術大会. 2014.5. 愛媛

北川洋志, 木村研一, 吉田宗平. トリガーポイント鍼刺激が及ぼす心血管系自律神経活動の検討 筋による反応性の違いについて. 第63回全日本鍼灸学会学術大会. 2014.5. 愛媛

4. その他

榎田高士. 東洋医学健康講座—長寿と健康—. 熊取町 ゆうゆう大学「はつらつ世代講座」長寿と健康—東洋医学から見た認知症と予防—. 熊取町. 2015.8

榎田高士. リスク管理 (鍼灸師). 大阪府鍼灸マッサージ師会. 大阪市. 2014.9

榎田高士. リスク管理 (あん摩マッサージ指圧師). 大阪府鍼灸マッサージ師会. 大阪市. 2014.9

榎田高士, 坂口俊二, 木村研一. 鍼灸実技講習. 平成26年度 日本東洋医学会 関西支部例会. 泉佐野市. 2014.10

榎田高士. 日本サーモロジー学会第31回大会 (大阪大会) 報告. Biomedical THERMOLOGY. 34 (2). 2015

池藤仁美, 坂口俊二. 多系統萎縮症に対する鍼治療の一症例. 日東洋医物理療学会誌. 39 (2): 59-63. 2014

坂口俊二. 「スポーツジムで心も体もリフレッシュセミナー」—東洋医学の「治未病」を活かしたセルフケアの実践—. 警察共済組合和歌山県支部リフレッシュセミナー. 田辺市. 2014.10

坂口俊二, 百合邦子. 「中高年女性のためのもっと元気になるツボ刺激」—心身のストレスが掛かるこの時代! ツボを刺激して明るく乗り越えましょう—. 泉佐野市健康保健センター健康講座. 泉佐野市. 2015.3

坂口俊二. 冷え症に対する酵素処理ヘスペリジンを主剤とする栄養補助食品 (めぐりの十一源®) の効果. 日本サーモロジー学会第31回大会ランチョンセミナー. 熊取町. 2015.6

戸村多郎. 家庭で出来るツボ刺激 Part 2 —美と健康のために—. 公社 滋賀県看護学会. 草津市. 2014.12

戸村多郎. 商標登録「五臓スコア」. 特許庁. 2014.6

木村研一. 平成24年～26年度文科省科学研究費補助金(基盤研究C 継続)「鍼刺激が下肢血流に及ぼす影響と筋交感神経活動の役割に関する研究」木村研一, 石田和也, 高橋紀代, 田島文博